

会社概要

法人名称/株式会社HARITA
 設立/1975年8月(創業 1960年6月)

本社 /〒939-0135 富山県高岡市市場町本館1053-1
 射水リサイクルセンター/〒934-0035 富山県射水市新堀34-11
 金沢支店/〒924-0051 石川県白山市福野町524-1
 富山支店/〒931-8332 富山県富山市森2-9-20

代表者/代表取締役 張田 真(はりたまこと)
 資本金/5,000万円

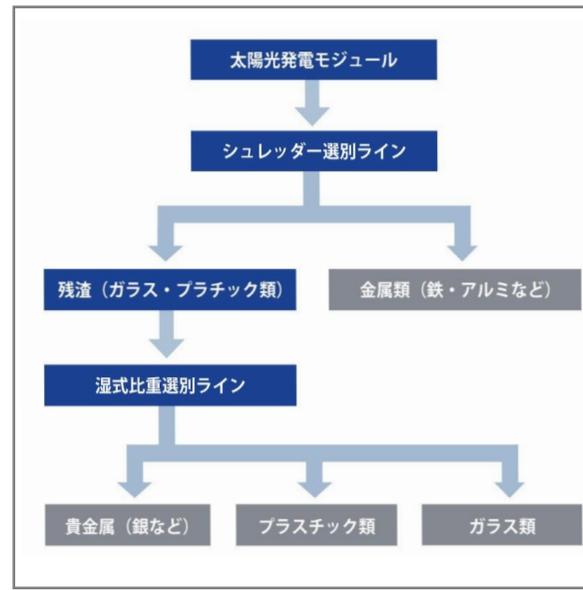
事業内容/●産業廃棄物の収集運搬・中間処理
 ●一般廃棄物の収集運搬・中間処理
 ●鉄スクラップの破砕・選別(製鋼原料の回収)
 ●家電リサイクル事業
 ●自動車リサイクル事業
 ●二輪車リサイクル事業
 ●小型家電リサイクル事業

- ISO14001:2015認証取得 適用範囲:全拠点
- ISO45001:2018認証取得 適用範囲:全拠点
- ISO27001:2013認証取得 適用範囲:本社工場、射水リサイクルセンター、金沢支店、インターステーション

沿革

1960年 6月 張田商会として高岡市にて創業開始
 1965年 自動車リサイクル開始
 1971年 ハリタ商会として福岡工場設立・移転
 1975年 8月 組職変更を行い、ハリタ金属(株)設立
 1975年 9月 500tキロトンを導入し、鉄スクラップの破砕処理を開始(本社工場)
 1976年 7月 産業廃棄物収集運搬事業(富山県)の許可取得
 1978年 アルミエンジン溶解炉 特許取得及び製造販売開始
 1979年 9月 産業廃棄物処分業(富山県)の許可取得
 1985年 12月 アルミ溶解回転炉・分析機を導入(本社工場)
 1991年 8月 1,500HPシュレッダー・300HPプレッシュレッダーを導入し、鉄スクラップの処理能力を増強(本社工場)
 1992年 10月 産業廃棄物収集運搬業(石川県)の許可取得
 1995年 1月 ハリタ金属金沢支店を設立
 1997年 9月 1,000tキロトンを導入(金沢支店)
 1998年 11月 産業廃棄物処分業(石川県)の許可取得
 2000年 5月 700HPプレッシュレッダー導入(本社工場)
 2000年 9月 産業廃棄物収集運搬業(新潟県)の許可取得
 2001年 4月 家電リサイクル法施行に伴い、再商品化施設に認定家電リサイクル法施行に伴い、富山支店、営業開始
 2001年 10月 シュレッダーダスト圧縮機、冷蔵断熱材フロム回収機を本社工場へ導入(家電リサイクル対応)
 2003年 5月 本社サイト ISO14001認証取得
 2004年 10月 二輪車リサイクル開始
 2004年 12月 産業廃棄物収集運搬業(滋賀県)の許可取得
 2006年 1月 車液選別装置導入(本社工場)
 2008年 12月 射水リサイクルセンター稼働
 2,000HPシュレッダー・750HPプレッシュレッダー導入(射水リサイクルセンター)
 1,250tキロトン導入(射水リサイクルセンター)
 2010年 6月 小型家電リサイクル法の認定事業者として認定
 2014年 8月 アルミニウム合金製造事業を素材販売事業へ事業転換(環境負荷軽減)
 2019年 5月 射水リサイクルセンターのシュレッダー第2工場稼働
 2020年 2月 産業廃棄物収集運搬業(京都府)の許可取得
 2021年 3月 射水リサイクルセンター ISO14001認証追加登録
 2021年 10月 ASR再資源化事業開始
 2022年 4月 本社サイト、射水RCサイト、富山支店サイト ISO45001認証取得
 経済産業省のGXリーグ基本構想に賛同
 2022年 8月 中小企業向けSBTI(Science Based Targets)の認定取得
 2023年 3月 富山支店・第2工場・インターステーション ISO14001認証追加登録
 2023年 4月 本社サイト・射水RCサイト・富山支店サイト・インターステーション ISO27001認証取得
 金沢支店サイト ISO45001認証追加登録
 2024年 7月 (株) HARITAに社名変更

太陽光発電パネルリサイクルフロー



太陽光発電パネルを全設備屋内型シュレッダー選別ラインにより破砕し、金属類(鉄・アルミなど)を取り除き、湿式比重選別機(ジグ選別機)で物質相互の比重差を利用して上層分と下層分に分けることでガラス類、プラスチック類、貴金属(銀など)に選別を行います。湿式比重選別機は水しか使用しないので低コストかつ大量処理が可能です。

湿式比重選別ライン(実験機)



シュレッダー処理工程

ローダー
対象物をプレッシュレッダーへ運びます。

プレッシュレッダー
シュレッダーに入れる前にある程度の大きさにまで細かく砕きます。

シュレッダー
対象物を細かく砕きます。

集塵装置
対象物を破砕した際に発生した粉塵を回収します。

磁力選別ライン
磁力で鉄を選別・回収します。

非鉄選別ライン
ミックスメタルを選別・回収します。

次世代型ソーティングシステム

LIBSソーター
元素レベルのリサイクル

ジグ選別ライン
比重選別

ダスト保管ヤード

減容・圧縮機

シュレッダー鉄
製鉄メーカーでリサイクルします。

金銀銅鉛、レアメタル
金銀銅鉛 1t中に100g以上の「金」が含まれています(富山産金は、鉄石 1t中に約 3gでした)。金以外に銀、銅、パラジウム等も含まれます。

ステンレス、銅線類
金属センサーを用いた選別により、ダスト中の金属資源を自動で選別します。